

## GAT (グローバル・アクション・チーム) について

ライオンズクラブ国際協会は100周年を迎えるにあたり、「LCI フォワード」を掲げました。「LCI フォワード」は、世界中のあらゆるニーズがライオンやレオによって満たされる日を夢見て、人道的奉仕活動を通じて、2020～2021年度までに年間の奉仕受益者の数を現在の3倍、つまり3億人以上を増やすことを目標としています。

そのために国際協会は、

**GMT**：会員増強、維持を目指す（グローバル・メンバーシップ・チーム）

**GLT**：リーダーの育成を目指す（グローバル・指導力育成チーム）に加え、

**GST**：地域に根差した新しい奉仕活動を創出していく（グローバル・サービス・チーム）

という新しい組織を作り、この**3つ**を合わせて

**GAT (グローバル・アクション・チーム)** としました。日本ではさらに、

**FWT (ファミリー・アンド・ウーマン・チーム)** を加えた**4つの組織**で

**GAT** が構成されています。

GAT は、会則地域レベルから複合地区・準地区・そして各クラブ内に至るまで新しく組織されることとなっています。準地区の GAT ファシリテーター（調整役・促進者）は、地区ガバナーであり、各クラブにおける GAT ファシリテーターはクラブ会長です。

今後、国際協会の示すモデルクラブ組織図（下図）に沿った組織を形成しての運営が望まれています。

